

総務大臣表彰受賞

地方自治法施行70周年を記念し、町監査委員として幸町の金子勝巳さんが、総務大臣表彰を受賞され、12月13日役場応接室に於いて伝達式を行いました。

金子さんは平成15年から平成27年までの12年間、町監査委員として地域と地方自治の振興と発展に尽くされた功績が認められての受賞となりました。



ピッコロのいろいろ聞きたいな

【第44回】「滝上110年祭」のお話し

【仙人】ピッコロよ。今年は滝上にとって節目の年なんじゃ。何かわかるかろう？

【ピッコロ】今年、成年。あと…冬季オリパラとか…

【仙人】今年、滝上町の開拓が本格的に始まった明治41年から数えて110年目を迎える記念の年なんじゃ。テーマは「滝上110年祭」じゃ。

【ピッコロ】「滝上110年祭」かあ。一体どんなことをするのか？

【仙人】まずは記念式典を開催するんじゃ。これまで、滝上のために頑張ってきた人たちに感謝し、お祝いをするんじゃ。他にも、平成30年度、町内で開催される行事については、110年の冠を付けて開催すると聞いておるぞ。

【ピッコロ】ビッグイベントは何？

【仙人】北海道日本ハムファイターズの選手2名が、滝上町

応援大使として任命されたのじゃ！これも滝上110年祭の記念事業として取り組む予定じゃ。詳しくは18ページを見てくれ。

【ピッコロ】滝上110年祭、なんだかたのしみだなあ。

【仙人】でもなあ、ピッコロ。「滝上110年祭」は、単に記念式典や記念事業をするだけでなく、みんなで110年の歴史を振り返り、未来の滝上について考えたりすることも大切なんじゃよ。

【ピッコロ】仙人さまの言うとおりにだね。110年の歴史の中で、今の町ができるまでどんなことがあったのかを知る良い機会だよね。

【仙人】ピッコロだったら、どんな話を聞いてみたいかのう？

【ピッコロ】ピッコロは、本格的に定住開拓が始まったころの話とか知りたいなあ。

【仙人】当時の人たちの生活は厳しかったと聞いておる。わしの知り合いの中には、米を

食べることができず、麦ばかり食べていた者もおるくらいじゃ。だがのう、こんな厳しい時代の正7年、渚滑村（現紋別市）から分村して滝上村が誕生したんじゃ。今年ちょうど、分村から数えて100年という節目の年なんじゃヨ！

【ピッコロ】滝上村？昔は滝上町とは呼ばなかったの？

【仙人】滝上町と呼ぶようになったのは、昭和22年からじゃ。

【ピッコロ】村から町になった時代は、人口とかも増えたの？

【仙人】滝上村が誕生した大正7年は、約4,900人。滝上町になった昭和22年は約12,000人もいたんじゃが、今は約2,700人まで減ってしまったのじゃ。

【ピッコロ】昔は1万人以上の人口がいたんだね。

【仙人】昭和29年の洞爺丸台風による風倒木処理も人口が増えた一つのきっかけじゃ。今は人口が少ないけれど、風倒木処理のように仕事があれば、人が増える可能性はあるかもしれぬのう。どうじゃピッコロ（仙人得意顔）。気が付いたら、開拓当時の話から、分村

人口、仕事の話に膨らんでいたじゃろ。

【ピッコロ】うん。110年の歴史の中に、ピッコロがもっと知りたいと思うことが、どんどん膨らんでいくね。

【仙人】みんなで110年の歴史を考えると、話はどう膨らみ、たくさんの忘れかけた記憶がよみがえるかもしれないのう。

【ピッコロ】その中には、未来の滝上の良いヒントもたくさんありそうだね。仙人さまの忘れかけた記憶もよみがえるといいね！

【仙人】…

【ピッコロ】（ピッコロ疑いの顔）仙人さまは今何歳なの？

【仙人】…

